

町田・デザイン専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科 昼間部(2年制)	2021年度	1年次・前期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	カラーコーディネート	3	45	
教科書・教材等	色彩検定公式テキスト、デザインの色彩、色彩用具一式			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種	確認者		
福島 圭子	有 カラーコンサルタント	学科長 奥水 正明		
授業の特徴・テーマ				
色彩学トーン分野から色の感じ方、光と色彩による室内コーディネートの基礎を学ぶ。				
到達目標				
色彩学の基本を理解し、生活環境の色彩に応用できる力をつける。建築における室内外の色彩効果について知り、身につける。建築計画室内計画に応用する力を身につける。				
授業概要				
配色効果を知り、建築やインテリアの色彩計画を可能にする。色彩に関する教材(配色カード、トータルカラー)の理解を養う。				
成績評価方法				
◆作文・課題 50% ◆定期試験 30% ◆平常点 10% ◆授業への参加姿勢 10%				
* 平常点には小テスト等を含む				
上記の割合に基づき総合的に評価する。				
* 原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること				
	授業内容	到達目標		
1回	教科ガイダンス	オリエンテーション / カリキュラム説明 色彩検定案内 教材の使い方 色の働き		
2回	色の分類と体系化	色の三属性 / 色相 明度 彩度 色表示 色立体		
3回	トーン理解1	トーンの成り立ちと特徴		
4回	トーン理解2	各トーンのイメージ		
5回	色彩感情	寒暖 軽重 派手地味など		
6回	色彩の連想と象徴	色のイメージ・基礎テスト1		
7回	色の視覚効果	対比と同化 面積効果 錯視		
8回	配色	色相配色		
9回	配色 配色技法	トーン配色 基本的な配色技法		
10回	色彩構成	イメージ配色 イメージボード作成について		
11回	色と光	光の性質 目の構造		
12回	混色	混色の種類と原理		
13回	イメージボード	基礎テスト2・イメージボードプレゼンテーション		
14回	インテリアの色彩	インテリアの色彩計画		
15回	総合演習			

町田・デザイン専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン 科 屋間部(2年制)	2021年度	1年次・前期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	フォトイラストレーター	3	45	
教科書・教材等	Adobe「Photoshop」「Illustrator」			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種	確認者		
岩崎政幸	書籍編集・DTPオペレーター	学科長 輿水 正明		
授業の特徴・テーマ				
建築・インテリアの世界で求められるデザイン表現を通じて、「Photoshop」と「Illustrator」の操作方法、活用方法を学ぶ。具体的には、商業チラシ、ポートフォリオを作成し、デジタルでの表現方法、コンセプト(方向性)の整理、作業工程の組立などの流れを学ぶ。				
到達目標				
「Photoshop」「Illustrator」という画像ツールをどのように使用するのか、自分の求める表現方法にどう活用したら良いのか、商業デザインなどの実際のデザインを参考に学ぶ。表現の幅を広げ、伝える相手への視覚的効果・影響について自ら考え選択できるようにする。				
授業概要				
講義を聞き、実際に演習で体験し、課題を一人で完成させる授業サイクルを行う。課題は出来るだけプロと同じ条件で制作し、操作だけでなく活用方法(デザインの理由)も学習する。使う教材は出来るだけ後期授業とリンクをさせ、他教科との親和性も高めた授業にする。				
成績評価方法				
◆作文・課題 60% ◆定期試験 0% ◆平常点 30% ◆授業への参加姿勢 10%				
* 平常点には小テスト等を含む				
上記の割合に基づき総合的に評価する。				
* 原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること				
	授業内容	授業計画		
1回	ガイダンス・コンピュータ概論	ネットワーク(インターネット、LAN、サーバ)など情報処理に関する知識とパソコンの基本操作など、コンピュータに関する基礎知識を学ぶ。		
2回	Photoshop 基礎 ①	「Photoshop」の基本操作を学習、描画・製図ソフトに共通するレイヤーの概念を知る。(配布教材を使ってレイヤー操作し、レイヤーを理解できているかプリントにて確認)		
3回	Photoshop 基礎 ②	リビングルームのモデルデータを元に部屋に飾るインテリアのデータを加工し配置する。(画像のトリミング、色調補正、反転加工などを学習し、完成データにて習熟度を確認)		
4回	Photoshop 基礎 ③	一点透視で描かれたリビングルームを自分でマテリアル素材(インテリア)を作成し飾り付ける。(一点透視図をマテリアル(インテリア)の加工を通じて学習、提出データで習熟度を確認)		
5回	データ変換、画像処理	Adobe「Photoshop」と「Illustrator」を使ってビットマップデータとベクターデータを学習。拡張子や保存形式の変更、プリントアウトなどもパソコンで実習しながら学ぶ。		
6回	Illustrator 基礎 ①	「Illustrator」の基本操作、ツールなどを学習、アウトライン(ベジェ曲線)の概念を知る。(機種依存文字やプリンタ解像度などについても実習、提出プリントにて習熟度を確認)		
7回	Illustrator 基礎 ②	タイポグラフィを通じてグラフィックデザイン、RGB/CMYKなどのカラー構成を知る。(配布された教材を使ってフォント・Q数・カラーの選択、文字の校正などを学習)		
8回	Illustrator 基礎 ③	画像の張り込み、リンク、トリミング(切り抜き加工など)を学ぶ。(配布教材をベースにアレンジを加え、デザインセンスを養う、提出データにて習熟度を確認)		
9回	住宅チラシの作成 ①	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成(前編)。(顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える)		
10回	住宅チラシの作成 ②	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成(後編)。(顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える)		
11回	商業デザインとは ①	実際に使われた商業デザインを用いて、訴求力のあるデザインとは何か、デザインが完成するまでの工程を考えながら学ぶ。		
12回	ポートフォリオの制作 ①	就職活動のポートフォリオや卒業制作のパネルなどのデザインをプレ学習する(前編)。(自分のアピールポイント、テーマ、将来についての考えをまとめる)		
13回	ポートフォリオの制作 ②	就職活動のポートフォリオや卒業制作のパネルなどのデザインをプレ学習する(中編)。(制作物のイメージカラーに沿った、素材(マテリアル)の作成)		
14回	ポートフォリオの制作 ③	就職活動のポートフォリオや卒業制作のパネルなどのデザインをプレ学習する(後編)。(課題の制作を通じて、後期授業への学習準備(レディネス)とする)		
15回	商業デザインとは ②	実際の商業デザインを用いて、ブランドのイメージ、カラーの統一、トータルバランスなどを知る。		

町田・デザイン専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科 昼間部(2年制)	2021年度	2年次・前期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	確認申請	3	45	
教科書・教材等	オリジナル資料			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種	確認者		
山本 響	有 意匠設計、建築審査、材料開発	奥水 正明		
授業の特徴・テーマ				
オリジナル課題プリントを使用し、法令集を確認しながら、手を動かして実際にチェックを行う。				
到達目標				
住宅設計において、実務で基本となる確認申請を学習する事で、デザインだけではなく、法規に沿ったプランニングを考える知識を習得する				
授業概要				
講義＋実習形式の授業スタイルで行う。その都度手を動かして理解を含める。				
成績評価方法				
◆作文・課題 80% ◆定期試験 % ◆平常点 % ◆授業への参加姿勢 20%				
* 平常点には小テスト等を含む				
上記の割合に基づき総合的に評価する。				
* 原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること				
	授業内容	到達目標		
1回	単体規定	法令集の説明、用語の説明(令21条)、確認申請(法6条)、道路(法42条)の理解		
2回	単体規定	敷地面積、床面積、延べ床面積(法2条・令2条)の理解		
3回	単体規定	建築面積(法2条・令2条)の理解		
4回	単体規定	採光(法28条、令19条)の理解		
5回	単体規定	採光(法28条、令19条)の理解		
6回	単体規定	換気(法28条、令19条)の理解		
7回	集団規定	容積率、建蔽率(法52条・53条)の理解		
8回	集団規定	容積率、建蔽率(法52条・53条)の理解		
9回	集団規定	高さ制限(道路 法56条)の理解		
10回	集団規定	高さ制限(道路 法56条)の理解		
11回	集団規定	高さ制限(道路 法56条)の理解		
12回	集団規定	高さ制限(隣地、北側 法56条)の理解		
13回	書式	修正		
14回	書式	確認申請書の理解		
15回	書式	確認申請書の理解		

町田・デザイン専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科 昼間部(2年制)	2021年度	2年次・前期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	建築構造	3	45	
教科書・教材等	インテリアコーディネーターハンドブック、建築資料ビジュアルハンドブック、定規、電卓、色鉛筆、ノート			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
山本 響	有意匠設計、建築審査、材料開発		奥水 正明	
授業の特徴・テーマ				
建築構造の基礎的な知識を学び、建築空間を自ら考え設計するときに役立てるよう身につける。				
到達目標				
建築の基礎知識を学び、身に付ける。				
授業概要				
建築の基礎知識を一般構造分野、構造力学分野より学習し、他科目のデザインや設計作品へと連動させる。				
成績評価方法				
◆作文・課題 0% ◆定期試験 80% ◆平常点 10% ◆授業への参加姿勢 10%				
*平常点には小テスト等を含む				
上記の割合に基づき総合的に評価する。				
*原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること				
	授業内容	到達目標		
1回	オリエンテーション	授業全体の流れの説明		
2回	建築構造の発展史①	在来軸組工法		
3回	建築構造の発展史①	在来軸組工法		
4回	建築構造の発展史②	組積造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造		
5回	建築構造の発展史②	組積造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造		
6回	道路、敷地、建物の定義	木工造基礎		
7回	道路、敷地、建物の定義	木工造基礎		
8回	軸組①	土台、火打土台		
9回	軸組①	土台、火打土台		
10回	軸組②	柱、間柱、貫、大陸、真壁		
11回	軸組②	柱、間柱、貫、大陸、真壁		
12回	軸組③	胴差し、桁、筋かい		
13回	軸組③	胴差し、桁、筋かい		
14回	開口部の骨組み	鴨居、敷居、窓台、窓まぐさ		
15回	テスト	まとめとしてテストによる内容の確認		

町田・デザイン専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科 昼間部(2年制)	2021年度	2年次・前期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	建築法規Ⅱ	3	45	
教科書・教材等	法令集(日建学院)、建築法規(学芸出版)			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
菊池 康弘	有 建築設計		奥水 正明	
授業の特徴・テーマ				
建築関係法令集が容易にひけるように、具体的に図を用いて学習する。				
到達目標				
建築士の学科、建築法規分野を網羅する。				
授業概要				
建築基礎知識を身に付け、建物、室内の実際のつくり出される過程での法律上でのポイントについて、具体的に解説する。				
成績評価方法				
◆作文・課題 10% ◆定期試験70% ◆平常点10% ◆授業への参加姿勢 10%				
* 平常点には小テスト等を含む				
上記の割合に基づき総合的に評価する。				
* 原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること				
	授業内容	授業計画		
1回	法の体系、形式、用語	法・令の条文の形式 条・項・号・イ		
2回	用語の定義	建築物、工作物		
3回	建築基準法に関わる手続き	確認申請・建築主事・特定行政庁		
4回	敷地、面積、高さ	敷地面積、建築面積、延べ面積		
5回	採光	居室の採光、有効採光面積		
6回	構造に関する基準	天井高さ、階段、スロープ		
7回	面積の制限①	容積率		
8回	面積の制限②	建ぺい率		
9回	高さの制限 道路斜線①	適用距離、緩和措置		
10回	高さの制限 道路斜線②	2以上の全面道路、2以上の用途地域		
11回	隣地斜線	斜線規制、緩和措置		
12回	一般構造規定(設備)、北側斜線	斜線規制、緩和措置		
13回	一般構造規定(採光、換気、日照)、防災地域、準防火地域	建築制限、防火、耐火		
14回	耐火建築物、準耐火建築物	耐火、準耐火の基準と性能		
15回	試験	中間試験、確認申請		